

健康福祉常任委員会会議記録（概要）

平成28年7月27日（水）

開 会（午後4時40分）

【議 事】

○議案第73号「平成28年度所沢市一般会計補正予算（第2号）」

当委員会所管部分（こども未来部所管部分）

【補足説明】な し

【質 疑】

平井委員

5園で64人、104人、96人、73人、97人とかなり子どもたちがいるが、この中で0歳児保育をしている園はあるか。

町田保育幼稚園
園課長

0歳児保育の該当園はございません。

平井委員

なるべく分散しないように園を異動させるということだが、比較的できるのは小学校かなと思うが、9月、10月に小学校に預けた場合、現在エアコンがあるのは宮前小学校だけだが、子どもにとって熱中症は命に関わるが、その辺をもう少し説明してもらいたい。

岸こども政策

学校については、エアコンがないということなので、その時期について

課長

は厳しいと認識しています。まだ決まっていますが学校が選ばれるのであれば、時期をずらして秋口にして子どもが2カ月間学校にいられるような期間を選定するしかないと考えております。

平井委員

時期をずらしてということだが、10月だって結構暑い日があるので限度があるのではないか。この際思い切って応急的な措置とか必要じゃないかと思う。命に関わる問題だと思う。安易に考えて何かあった場合には、どうするのか。

岸こども政策

エアコンの問題もありますし、学校も低い階の教室が空いている学校も

課長

少なく、階段利用もしなくてはいけない状況でございますので、学校はいろいろなハードルがございますので、まだ決まっていますが、今のところ厳しいかと思っております。

平井委員

このことは、検討課題として残しておきたいと思う。

次に給食はどうするのか心配。大体自校式になったと思うが保育園児が食べるものと、小学生が食べるものは全く違う。先ほど0歳児のことを聞いたのは、離乳食があったらどうするのかと思って聞いたが幸いにも0歳児はいないとのことだが、子どもの幼児食の段階があるが、そういった給食問題はどうか解決するのか。

町田保育幼稚園課長	現在の給食の水準を維持できるような形で検討していきたいと考えております。
平井委員	具体的にはどうしようと考えているのか。
町田保育幼稚園課長	いろいろな方法が考えられると思いますが、衛生面や、アレルギー対応とか、今の水準が保てる方法を考えていきたいと思っております。
平井委員	それは、学校施設で対応するという理解でよいか。
町田保育幼稚園課長	学校、あるいは学校ではない場合も含めて、検討する方向で調整しております。
平井委員	学校の給食と保育園児の食べるものは違うが、学校給食もやりながら、保育園児の給食の対応もできるのか。
町田保育幼稚園課長	学校給食だけではなく、他の方法も含めて今の水準を維持できる方法で、考えていきたいと思っております。
吉村委員	学校で、園児を預かることも検討しているのか。 例えば、児童館に保育園児を預けて、その児童館にいる生活クラブの子

どもを一時的に学校で預かり保育するのか。直接、保育園児を学校で預かることなのか。

岸こども政策
課長

その辺は、まだ本決まりではないので、学校に直接保育園が入る場合もあると思うし、児童館に入る場合は児童館が保育園になるので、今まで児童館を使っていた人はどこに行くのか、ということで生活クラブを学校にという考えも今後調整していく内容になります。

吉村委員

生活クラブにはエアコンは入っているのか。

岸こども政策
課長

児童館には、エアコンは入っております。

矢作委員

児童館という話が出ているが、他にもいくつか出された中で、老人施設や、武道館や、サンアビなども出ているが、すべて指定管理者が管理していると思うが、そこはどのように実現させていこうと考えているのか。

岸こども政策
課長

指定管理者がやっておりますので、そのことも含めて指定管理者とも話し合っ調整しなくてはいけない部分だと考えております。

矢作委員

公共施設の名前をたくさん出してもらったが、今の時点で行先が未定と

提案されてくると判断の基準として困る。現時点で例えば三ヶ島保育園だったらここが有力など具体的なものはないのか。

岸こども政策
課長 保護者には8月の終わりから9月の初旬に、第1回の説明会を開く予定ですが、その時までにはその辺を絞り込んで説明できるように対応したいと考えております。

矢作委員 移転する先の施設の方にも説明は必要だと思うが、保護者への説明は各園2回ということだが、移転先への説明はするのか。

岸こども政策
課長 仮に利用者がいるところを保育園として使って、その方にどいてもらうことになったらその先の代替施設でも説明会を開くことを考えております。

平井委員 児童館は今でもいっぱい、保育園の子どもはお昼寝を2時間ぐらいするが、その時に児童館に来た子どもが騒いだりすると思うので、とてもじゃないけど無理だと思うが検討とか向こうからの話はないのか。考えられない。どういう検討結果で、児童館が挙がってきたのか。

岸こども政策
課長 その点も含めて調整しているところです。確かに利用者がいるところですので、放課後は放課後の時間帯で、昼間も児童館で事業をやっています

ので、乳幼児の事業などもございますので、そういった利用ができなくなることもありますから、その辺についても調整を進める、絞り込んでいくということになります。

平井委員

山口西保育園は104人いるということで、1歳児から5歳児までを1つにしたら、児童館だと無理なので、学校になってしまうとかそういう形でもっと具体的でないのか。

そうしないと、私達の質問の仕方が違ってきてしまう。

児童館は今でもいっぱいなのにどうするのと思うし、何かがあるから議会に出していると思う。代替施設は、三ヶ島保育園は三ヶ島小学校、まちづくりセンター、わかば児童館、三ヶ島中学校と案が出ているが、とてもじゃないけど、大人数の小さい子どもをそこに預けるということは不可能に近いのではないかと思うが、具体的に検討しているのは小学校や中学校になるのか。

空き教室とか、いろいろ検討すれば学校であればエアコンの入っている教室もあるし、そこを利用できると思うが、考えがないまま、議会に提案されたとは思えないので、もう少し具体的な話があると思う。

岸こども政策
課長

何回も同じ話になって申し訳ありませんが、そのようなことも含めて、児童館では利用者がいたり、学校の教室では上階しか空いていないということで、総合的に、園児に対して保育がベターな場所、それから利用者に

も迷惑がかからないような対応で代替施設を選んでいきたいと考えているところではあります。

中村委員

利用者がいる、いないではなくて、そこは少しはっきりしてもらわないと、この予算を通してよいかわからないという状況になってしまう。

我々にも議決責任がある。例えば、ある保育園についてはいくつかの候補が考えられるぐらいまでは言ってもらわないと。基準についても、給食にしても、代替施設にしても、それは今のクオリティを維持するように頑張りますだけではちょっと困るということが1つある。だからそれはもう少しはっきりしていただきたい。はっきりしていないにもかかわらず、コストを抑えるために仮園舎は建てないと断言されている。その思考パターンというか政策過程、これが出てくるものというのが全然理解できない。もしそれぐらいの理由しかなかったら仮園舎を建てないことを資料に書くというのも私はおかしいと思う。その状況について、今説明会を開いて何を説明するのか。説明会の時までには決められるのであれば、少なくともそのぐらいの情報を開示していただかないと我々としても何とも言いづらい。その辺をどう考えるかが1点。

もう1点は、他市の事例があると思う。例えば、こういう市では、仮園舎を建てないでこういうふうにやりましたとか。そういう事例について把握されていると思うので、その辺についてもご答弁をいただきたい。

岸こども政策
課長

具体的なところですけども、三ヶ島保育園でしたら、学校では三ヶ島小学校であったりとか、林小学校、公共施設ということになりますと三ヶ島公民館、先ほど来出ている児童館ではわかば児童館、高齢者施設の話がございましたが、みかじま荘がございますがこれはキャパシティ的に厳しいということなので、今候補からは外れているところです。

中村委員

一覧としてわかるようなものがないとちょっと審議が難しい。なのに、コストを抑えるために仮園舎を建てないんですよ。なぜコストを抑えるために仮園舎を建てないと最初から決めているのか。仮園舎を建てられるかもしれないじゃないですか。実際、富岡保育園の時は建てているわけじゃないですか。所沢保育園の時には代替施設が決まっていたバスを走らせるかどうかというのはちょっとありましたけれども、その時にはそうやって議案が出て来ました。今回一気に5園やります、残業は大変です、入園制限は行わないです、仮園舎は建てないです、近くの所を探しています、頑張ります、よろしくお願ひしますと言われても、結構よろしくお願ひできないです。その辺はどう理解したらいいですか。あと、もう1つ、他市事例をお願いします。

岸こども政策
課長

他市の状況でございますけれども、狭山市では、代替施設として小学校を活用しています。ふじみ野市も小学校、それから富士見市では地域の集会所、それから川越市は公民館等を代替施設として活用したことがござい

ます。

絞り込みのほうですが、早急に対応はしているところでございますけれども、なかなか先ほど来のお話で、小学校にも課題はあるし、ほかの施設とかでもやはり課題はあったりするので、園児にとってよいところ、利用者にとってもベターな選択をしていきたいとしか、今のところは言えない状況でございます。

中村委員

例えば、所沢保育園の時にはそのようなことはなかったではないですか。ちょうど廃止になることがわかっていたという部分が当然あったのでしょうけれど。そこは何らかの担保というものがないと子どもたちの安全・安心という部分について非常に不安です。チルドレンファーストではないですけれども、保育園の園児の安全・安心を第一に耐震化事業をやるのはよくわかるんですけども、やっている間に安全・安心が担保できるかどうかわからないという状況の中で事業を進めてよいかどうかというのは微妙になってしまうので、何かもう1つ、やらないように頑張るだけではなくて、ここについては、こういう状況ですから今このまま行けるのではないかみたいな話が少しないとだめだと思う。それが全部決まるかどうかはわからないかもしれないが。そもそも8月下旬には決まると言っているのだから。

岸こども政策

できる限り絞り込みたいということでございます。

課長

中村委員

では、なぜそのような状況の中で、コストを抑えるために仮園舎は建てないということが断言できるのか。

岸こども政策

課長

地震が起きた時に危険性が高いと言われている耐震診断の結果ですの
で、どれを優先順位を付けて順次やっていくというよりも、とにかく補強
工事だけでも優先的に早急に対応したいというところがございますので、
予算に限りもあるものですから、早急に全園対応するということになる
と、なかなか仮園舎を建てるのはコスト的にも厳しいのではないかと
いう判断をしているところでございます。

中村委員

浅野議員が質疑していましたけれども、その時には計画的に優先順位を
付けて計画的に耐震修繕していくと言ってるじゃないですか。それが何で
ここで急に変わるんですか。事務事業評価表にも書いてありますよね。

岸こども政策

課長

そのきっかけとなったのは、昨今の地震状況によるもので、熊本地震で
も倒壊している保育園舎はないということで、ただどうしても外壁にひび
が入ったりですとか、ガラスが割れたりなどの被害は当然あったというこ
とでございますので、そういう意味でも、どの園が先だというよりは全園
同時に早急に対応したほうがよいのではないかとというふうに、そこで方針

が変わってきました。方針といいましても市の方針ではなくて担当のほうで順次やっていこうということで考えていたところですが、市の方針としては早急に対応したほうがいいということで、耐震結果が全部出揃った平成28年度になってからそういう方向性に決まったというところがございます。

末吉委員

事前に説明を受けた際にいただいた資料には、今課長が言われた熊本地震の状況を踏まえてという言葉がかっこ書きでありました。私たちもそれに沿ってヒアリングをしてきましたが、今回提出された議案資料の中では、その文言が消えています。今の課長の答弁で、その影響もあったのかというふうには思いますが、なぜ消えたのか。

本田こども未来部長

熊本地震の記載については、かっこ書きで書かせていただいたかと思えます。今回の議案資料の中でその表記は消えてはいますけれども、全体的には昨今の地震の状況等を踏まえてという、その事実は変わっておりませんので、表記の整理はさせていただきましたけれども、基本方針に変わりはありません。

末吉委員

先ほど、議場で御説明がありました、国の耐震促進に関する法律に沿って2階建てかつ500平米以上についてはやってきたと。その後平成24年3月の県の通知が出て、全部をやるようにと。2階建てかつ500平米

でもなくてもやるようにということの内容についてももう少し詳しく、どのような通知であったかご説明いただきたい。また、そのことを受けて、近隣他市の対応はどうだったのか。全園の耐震化を進めてきているのか。所沢に関して言えば、先ほどの説明を聞くと、平成29年度に設計をして5年かけてやっていくという話であったが、それがなんで急に今変わるのか。県の通知について、どのように取り組んでいくつもりだったのか。なぜこんなにどたばたと、それも代替施設があるのなのと言っている話の中で、急にやるのかというところの政策転換の理由がよくわからない。

岸こども政策
課長

県からの通知でございますけれども、「県といたしましては、耐震化が図られていない全ての保育所が耐震診断を実施し、速やかに保育所の耐震化を図っていただきたいと考えております。ついては、速やかな耐震診断及び耐震改修を進め、扶養児童の更なる安全確保に取り組まれますようお願いします」というような通知文書となります。それから、この通知を受けて、平成26、27年度において、国の基準で2階建てかつ500平米以上の園に対しては対応してきたところですが、それ以外の園についてもこの通知によって、やっていきたいと思いますということで、平成26、27年度に耐震診断を行いました。その結果について、繰り返しになりますが、当初は一遍には難しいということで、1年度に1園ずつ耐震補強していければと考えていましたが、4月以降、昨今の地震状況によって、1年度ごとでは時間がかかるし、どれを優先するかも難しいということで、早急に

全園とも対応していった方がいいと市の方針でまとまったところです。

末吉委員

近隣他市の耐震は全園で終わっているのか。

岸こども政策

狭山市、入間市においては、すべての保育所において耐震補強が完了し

課長

ています。飯能市については3園が、川越市については1園が未実施です。

また、近隣ではありませんが、さいたま市においても、すべての保育所で耐震補強が完了しています。

末吉委員

平成26年度中に耐震診断を実施した園は、平成27年度中に結果が出ていた。入札を分けて行ったのであれば、結果が出た時点で、1園ずつ実施することもできたのではないか。6園すべての結果が出るまで2年間待ち、平成29年度から5年間かけて平成34年度まで、この通知が出てから10年間ぐらいで耐震補強をする計画だったのか。

岸こども政策

当初、耐震診断は6園同時に要望していたが、財政状況から3園ずつ分

課長

けることとなりました。6園同時に実施することで、耐震強度がより低いもので順番をつけ、危険度が高いものから1年度に1園ずつ工事を実施しようと考えていました。そのため、すべての結果が出揃ってから、順番を付けて計画していきたいという考えでいましたので、先に結果が出たものから設計するという事はしませんでした。あらかじめ危険性が高いもの

の把握はしておらず、順位付けてからすることはできなかったもので、耐震診断の順番も先に東をやって、次に西をというふうに区分けをしましたので、結果が出揃ってから順番を付けて計画を立てようと考えておりました。

近藤委員

今回の診断結果について、耐震性が低い施設から順次行う予定だったと思うのだが、熊本地震等の発生を受け、子どもの安心のためにこれが予算化されたという経緯でよいか。

岸こども政策

課長

お見込みのとおりです。担当としては、すべて一遍には難しいと思っていたので、各年度に1園ぐらいと考えていましたが、昨今の地震の状況から、市としては何年もかかってはしょうがないので一遍に対応した方がいいのではないかと変わっていったところ です。

末吉委員

市内の、定員にまだ空きがある所沢第二幼稚園は子どもを受け入れるのに適しているが、なぜ候補に挙がってこないのか。

岸こども政策

課長

山口西保育園が一番近いと思うのですが、今通っている園からなるべく近い距離で、徒歩20分圏内を選択したいと考えています。所沢第二幼稚園はその基準よりは遠いと判断しました。

末吉委員	所沢第二幼稚園には、空き教室や子どもたちが遊べる環境も整っているのに、所沢保育園のようにバスで送迎することを考えなかったのか。
岸こども政策課長	バスの送迎は、コストがかかるほかに、所沢保育園の際にとっても評判がよくなかったということがあります、難しいと感じていました。そのため、保護者の方が送迎可能なところだと考えました。
中村委員	今回は市立保育園の耐震化だが、子どもの命を最優先にという観点からは、民間の保育園や幼稚園も変わらないと考えるが、そちらの耐震化率や状況はどうなっているか。また、市立保育園の耐震化を優先するという結論に至った経緯も伺いたい。
岸こども政策課長	民間の保育園について、昭和56年5月31日の基準日以前の建築は泉町保育園のみですが、耐震診断の結果、耐震強度があると診断されています。そのほかは基準日以降に建築されたものです。
町田保育幼稚園課長	私立幼稚園についても、県の幼稚園担当から耐震診断を受けるよう同時期に通知が出ているということは確認しています。例えば、新所沢こひつじ幼稚園や美原幼稚園は建替え等の工事を行っている状況であり、協会の会長からは順次耐震化を進めていると聞いています。

中村委員

子どもの命を最優先にして、この政策が今のタイミングで出てくるのであれば、所沢第二幼稚園や民間の保育園についての説明をもう少し求める。また、所沢第二幼稚園の耐震診断は実施したのかも伺いたい。

岸こども政策

幼稚園の状況については、確認して後ほどお答えします。

課長

平井委員

財源について、公立保育園の財源を一般財源化したことにより建設費が来ないということだったが、緊急防災事業債で国から財源の70%が戻ってくるならば、園庭によっては仮園舎をそこに建てるような形態もできるのではないかと考えるが、その点について検討はされたか。

岸こども政策

課長

仮園舎も検討しましたが、5園とも園庭の面積の問題から、現在の園児数をすべて収容できるプレハブを造ることができませんでした。近くにそういった土地があればよかったかもしれませんが、それもなかなか見つからない状況があり、コスト面以外にもこういった問題で仮園舎は難しいと判断しました。

平井委員

財源については、国から交付金で70%戻ってくるということで、土地があれば検討の余地が広がったのではないか。

岸こども政策
課長

先ほど申し上げたとおり、探してみたのですが、なかなか見つからず、とても遠いところに造っても、保護者の方に送迎で負担をかけてしまうということがあります。加えて、交付税で戻ってくるという話もありますが、コスト部分がかかるのであれば、近くの公共施設のほうがいいのではないかという議論になったということです。

矢作委員

移転先のことと仮園舎のことですが、質疑の中で岸課長から全園児が入るプレハブは建てられないという話がありましたが、それでも工事の工夫で、例えば半分ないし3分の2が入るプレハブが建ったとして、園の中を移動しながら、土日に工事を集中することも考えられるのではないかと思います。うのですが、それは絶対に無理だからできないという判断になっているのか。

岸こども政策
課長

保護者や園児の負担を考えて、居ながらの工事ができないか建設部門とも再三相談しました。しかし、どうしても2カ月間、園を空にして工事を行う工法になってしまいそうだということで、居ながら工法はなかなか難しいかなと判断したところではあります。

中村委員

三ヶ島保育園は耐震補強、耐震改修工事を行って、富岡保育園は建替えた理由を伺いたい。

岸こども政策
課長

建替えとなると富岡保育園は平成21年度に耐震診断で判断されて、建替えが終ったのは平成27年度になります。長い期間かかってしまうこともあり、今回については、早急に補強工事だけは進めさせていただきたいと考えて決めました。

中村委員

富岡保育園を建替えたということだから、三ヶ島保育園も取りあえず耐震を進めた結果、今後、建替えることもあるということか。

また、富岡保育園を造るときには、耐震改修を考えなかったのか。

耐震改修の方が、今の課長の論理からすると早く、子どもの安全・安心が守られたと思う。なぜ、耐震改修ではなく、建替えという決断になったのか。三ヶ島保育園は、耐震改修を行っても建替えを行う可能性があるのか。

岸こども政策
課長

三ヶ島保育園については、躯体が強固になって、他の部分の老朽化が進む部分もありますので、三ヶ島地区で保育の需要が非常に高いということであれば、老朽化の部分で、建て直しということは絶対には言い切れませんが、今のところ、三ヶ島地区については、急激に需要があがるということは想定できないので、建替えについては何とも言えないという状況です。

中村委員

子ども子育て支援計画で、その老朽化の状況は把握しているはずだ。そ

ういった数字の中から、片方は建替えた、片方は耐震診断で進めるという説明をもらいたい。その辺についてはいかがか。

岸こども政策
課長

三ヶ島地区は公立保育園がさやまが丘保育園と三ヶ島保育園の2園ありまして、富岡地区は富岡保育園が1園ということになりますので、今後保育需要は減らないと思いますが、人口の少子化の影響で、減少していくことを考えると、公立保育園が、需要と供給のバランス調整的な役割を担っていくことが考えられますので、各地区に1園は公立保育園がないといけないという考えから、富岡保育園については、存続させないといけないということで、建替えということで判断されたものと思います。

中村委員

それだって耐震改修でいいのではないか。富岡保育園は建替えた。三ヶ島保育園は耐震改修である。今の話では、三ヶ島保育園はつぶれる可能性があるから耐震改修で富岡保育園はつぶれる可能性がないから改築というようなことだ。何らかの数字的な根拠があって、片方は建替え、片方は建替えず耐震改修でいくという結論を下しているはずである。みなさんの下した結論を教えてもらいたいと言っているだけである。

岸こども政策
課長

各地区に保育園1園をとということです。

中村委員

それは富岡保育園を建替える理由にはならない。それだったら耐震改修でもよい。今回、三ヶ島保育園を建替えない理由を伺いたい。

岸こども政策
課長

建替えには時間を要するため、今回は早急に耐震改修をさせていただきたいという趣旨でございますので、建替えについては、必要性があったときには考えていくことになろうかと思えます。

中村委員

需要予測からして耐震改修促進計画がかつてあったみたいだが、そのようなものに出てくるものではないのか。思いつきで議案が出ているような気がして不安になる。だから近隣の公共施設を活用すると言われても、当てがあるかどうかというところも曖昧になっているので審議が進んでいない。理由について伺いたい。

本田こども未
来部長

富岡保育園のときと今回で何が違うかといえば、地震の被害等の市の危機感が違うというふうに思っております。先ほど理由にならないと言われましたが、園を改修するというよりも建替えるという判断をしたものだと私は考えております。今回の三ヶ島保育園については、建物の崩壊から子どもたちの安全を守るということで、一斉にさせていただくという括りになります。その中での事業というふうに考えていただけたらと思えます。同じ老朽化という点でどこが違うのかというと、区別はできませんが、今回は目的ということで三ヶ島保育園については、老朽化もしております

が、まずは、建物の耐震を行うことで倒壊の危険性から子どもたちを守るという目的の中で実施するものというふうにご理解をいただきたいと思っています。

中村委員 ちなみに耐震改修促進計画では、富岡保育園と三ヶ島保育園はどのような位置づけだったのか。

岸こども政策
課長 この計画では、2階建てかつ500平米以上という基準で、優先的に進めていくことになっておりまして、富岡保育園は、この基準に入っていました。三ヶ島保育園は、この基準に入っていませんでしたので今回の耐震診断をさせていただきました。

中村委員 今後も、一定の基準がある場合には建替えをするということか。

岸こども政策
課長 耐震対応してくださいという計画ですので、必ずしも建替えをするという要件ではありません。

中村委員 地震に対する危機感が、変わったということか。であれば、幼稚園はどうなのか。

町田保育幼稚 所沢第二幼稚園の園舎は、平成22年度および24年度に、リース物件

園課長	ということで耐震化されているということでございます。遊戯室は小規模なため耐震診断は行っておりません。
中村委員	保育園に関しては、小規模でも耐震診断を行ったのではないかと。やる、やらないの違いは何なのか。
岸こども政策課長	先ほどお話がありました県からの通知でございますが、保育所に限った通知となっておりますので、幼稚園は含まれていません。
中村委員	地震に対する危機感が強まったということと子どもの命を考えると所沢第二幼稚園の旧管理棟の部分についても耐震診断をするということによろしいか。
本田こども未来部長	今、申し上げたように所沢第二幼稚園については、今のところ実施するという根拠については、保育園と違った状況です。その辺につきましては担当所管には確認してまいりたいと思います。
中村委員	通知というのは、あくまでも技術的助言に過ぎないのだから、担当としてどのように考えているのか伺いたい。
本田こども未来部長	予算計上や順位づけするのに、様々な根拠が必要かと思えます。今回行

来部長

っているものとの整合性もあるかと思しますので、働きかけはしていきたいと思っておりますが、最終的には所管の判断ということもあるかと思しますので、その部分については今後、働きかけはしてまいりたいと考えます。

末吉委員

需要のバランスの話があったが、富岡保育園も建替えの前には定員割れしていて、ここは需要がどうのっていう話があったと思う。ある意味、保護者が入れたい園になっていると思う。先ほどから三ヶ島保育園については保育需要がないという話があったが、ある意味わからないんじゃないか。潜在的保育需要ということであれば、ここ数年の中で、いろいろとみないといけないこともあるし、今後の予測もあるかと思うが、そのこと自体も変わっていくものと思う。これからの中長期の保育需要と市の全体を見通した保育計画や体制の計画の中で、建替えや整理も含め考え直していくという中に、建替えもないことはないということによろしいか。

岸こども政策

老朽化が進めば、選択肢としては建替えということもあると思います。

課長

末吉委員

そうすると、今回提案された耐震化の工事が実現をすれば、ある意味、このこと自体も、これからの市の保育行政の中で影響をしていくのではないかと。つまり、今までだったら、この園はどうなるのだろうか、建替えな

のか、廃園なのか、それともずっとこのままなのかというのが、ある意味、この耐震化の工事をすることによって、しばらくは建替えないのだと思う。そういう意味で、全体の保育園の計画というのは、少し見直しをしていくということはあるのか。

岸こども政策
課長

市全体の需要と状況のバランスについては、子ども子育て会議の方で常に進捗管理を行っているところですが、その中で、この園については、老朽化は進むがまだまだ必要ですというようなご意見等をいただくようなことがあれば、建替えのほうも当然考えることになると思います。

末吉委員

耐震工事というものの自体がなかなか難しく、例えば、窓に筋交いをかけたりして制限をして頑強にすると、ある意味の居住性が損なわれる部分があるかと思う。その点について、子どもたちが毎日過ごす場所なので大丈夫なのか。そもそも老朽化に加えてさらに耐震化でいろいろやっていると居住環境が悪くなるのではないかと思うが、その点についてはいかがか。

岸こども政策
課長

正確な耐震の工法については、設計が終わらないと何とも言えない部分ではありますが、今のところ、予想として言われているところだと、例えば鉄骨造の建物であれば、どうしても梁と柱の接合部分が弱いところとなっていますので、そのところを補強していくということになると、鉄

骨造や鉄筋コンクリート造については、それほど開口部についての筋交いの締め付けはなさそうだと認識しているところです。ただ、木造については、三ヶ島保育園については、そういう部分が1部出る可能性はあると伺っておりますが、いずれにしましても、園児たちが苦痛になるような環境はよろしくないと考えておりますので、そうしたことにはならないような設計を、私どもとしても確認していきたいと思っております。

中村委員

参考までに、旧富岡保育園の建築年度と延べ床面積、耐震診断結果の値、人数について伺いたい。

岸こども政策
課長

建替え前の延べ床面積が、2階建てになりますが519.27平米、建築年度は昭和39年度、耐震結果については、富岡保育園の施設は、木造と鉄骨造があり、木造についてはIw値が0.20、鉄骨造についてはIs値が0.52です。

町田保育幼稚
園課長

富岡保育園の人数ですが、平成25年度が48人、平成26年度が34人、平成27年度が19人です。26年度と27年度の2カ年で入園調整をさせていただきました。

平井委員

現在、三ヶ島小学校とか林小学校の校長先生とどういう形で具体的な話をされているのか、具体的な経過を伺いたい。

岸こども政策 課長	教育委員会を介して校長先生に連絡をして、可能性について、私どもの方からお願いをして、現地調査をしてきました。
平井委員	その検討結果についてはどうなのか。
岸こども政策 課長	例えば、転用可能教室はどこにあるというようなことを確認してきました。
平井委員	確認した結果、可能性があれば、小学校が一番いいと言っているので、そこを使うという認識でよいか。
岸こども政策 課長	確認の結果、転用可能教室は結構上の階にあり、1階とか2階の園児が階段で遊ばないような環境のところがなかなか空いてなかったのもので、厳しいと考えています。
平井委員	林小学校、三ヶ島小学校、まちづくりセンターなど、1つひとつ具体的に各施設と話し合っ、残ったところで受け持ってもらおうということか。
岸こども政策 課長	もちろん相手方がいることなので、確認しつつ、代替施設で保育が安全に行えるようなところを選択していくということですので、絶対に可能性

がないというところは別ですが、少しでも協力したいというところについては、そういう可能性、一番ベターな方法を選択していきたいと考えています。

平井議員

8月30日に保護者会を行うということでは、それまでには決定しなくてはならないということだが、具体的にスケジュールはどうなっているのか。どこまでに市として決めたということがわかるのか。

岸こども政策
課長

もちろん、説明会までに決定すれば一番よろしいのですが、決まらない可能性もありますので、そのときには、保護者には第1候補として、ここを想定していますという説明ができればと思っておりますので、希望としては、その辺までに決定したいと考えています。相手がいるので、決まるかどうかはわからないということがあります。

矢作委員

決まっていなくても説明会はやるのか。また、いろいろな施設が挙がっていて、目的と違うところに間借りをしなくてはならないということは、安全性については最優先で進めるといわれても、大丈夫なのかと思う。いくら公立とはいっても指定管理でもあるし、武道館というのも出ていたが、この点について伺いたい。

岸こども政策

もちろん保護者の説明会までに決めたいということで臨んでいます、

課長

100%できるかということについてはわからないということです。もちろん、なるべく間に合わせたいと考えています。代替施設での保育についてですが、厳密にいうと、保育所でないところを保育所として使うわけですから、いろいろな縛りがありますが、市としては、あくまでも仮の一時的使用ということで考えていきたいと思っております。

中村委員

総合計画における市立保育園の耐震化とはどういう記述になっているのか。それとこれとの関連性について伺いたい。

本田こども未来部長

総合計画の中で、具体的な耐震化の記述は、私も確かになかったと記憶しています。ただ、これは保育環境を整えるという意味では、環境的な改善の努力というのは市の責務であると思っておりますので、直接の表記はありませんが、当然ながら、こういったものは行っていくべきだと思っております。

中村委員

ある施策を起こすときというのは、総合計画との関連というのは必ず頭に入るわけなので、どの部分にどう紐づけたのか流れについて伺いたい。

岸こども政策課長

総合計画の体系ですが、健康福祉の子ども支援、基本方針は子どもの育成支援の充実のところ、保育園施設整備事業があり、こちらで施設の安全上適正な管理を図ることが、今回の耐震事業に繋がっていると考

えます。

末吉委員

説明会について伺いたい。8月下旬に2回程度開催するとのことだが、1つは、先ほどから工事期間とそれについては縷々質疑があるが、平成29年の年末に耐震工事が終わるとのことだが、そうするとそれまでの間この保育園として使っているところはこの数字である。保護者にとって、急に可視化されてくると不安になったりすると思うが。そのことについてどのように説明するのか。

岸こども政策
課長

診断結果については7月20日にホームページに載せ、対象園の保護者の方にはポケットに通知を入れさせていただき、公表をしているところがございます。説明会では診断結果についてと、市としては一番早い方法で対応する旨をご説明したいと考えております。

本田こども未
来部長

これまでもほかの施設においてもそうであったということは間違いありませんが、施設を整備する間は、職員の方でこれを回避しなければなりませんので、地震が起きたときの対応や、日頃の避難訓練を徹底するという事で保護者の方にはご理解いただきたいと考えております。

末吉委員

なぜこんな意地悪な質問をするかという、説明会において、これまでもあったが紛糾することもあるし、このことにおいては保護者にもいろ

いろな不安があるかと思う。そのことについて、職員もとても苦労して心
労がたまるような局面もたくさんあったかと思う。そのことによって所沢
市の行政自体が悪いイメージになってしまうということもあったかと思
う。大体こういうところに出てくる保護者の不安や質問については想定が
できると思う。部長の答弁にもあったように、そのことを払拭するような
想定問答をしていただき、なおかつ協力していただかなければならない部
分がスムーズに進むように、園長の協力も得て慎重にやってほしい。この
点についていかがか。

町田保育幼稚
園課長

今回のことについては、園長へ説明し、現場が安心して保育ができるよ
う、園長と一緒に確認や現場調査を行っております。説明会にも園長から
もお話できるように考えておりますので、保護者の不安を払拭できるよ
う、説明をしていきたいと考えているところです。

末吉委員

今日の時点で、学校なのか児童館なのかどこなのか分からないというこ
とで、議員にとっても質疑内容が違うし、不安にも思う。8月下旬になれば
全て調整も済み、公表できる状態になっているのかもしれないが、なっ
ていない場合も考えられる。その点についても、予測が独り歩きしたり、
そうではなく、もう1度耐震改修工事設計が終わった時点で説明会がある
かと思う。その点についてのスケジュールも含めて不安が高まらないよう
な、代替施設が未定だったとしてもその点についてうわさが独り歩きして

いったりしないような説明の仕方を期待するが、その点についてはいかがか。

岸こども政策
課長

代替施設についての話が独り歩きしないような説明をしていきたいと
思いますし、何よりも早く決めて説明できればと考えているところでござ
いますので、施設の決定を早急にしたいと考えております。

中村委員

説明会を8月下旬から2回ずつ行うということは、10回実施するとい
うことでよいかが1点目、それから2回ということの根拠が2点目、所沢
保育園の建替えや富岡保育園の建替え、その他の保育園の耐震診断や耐震
工事を行ったときの説明会の回数が3点目、これら3点について伺いた
い。

町田保育幼稚
園課長

所沢保育園については3回行いました。富岡保育園については2回行い
ました。2回の根拠ですが、説明会が夕方からとなるため、保護者会長と
調整しまして2回とさせていただいたものです。

中村委員

近隣の代替施設、公共施設についてもそこの利用者に対する説明会は行
うのか伺いたい。

岸こども政策

代替施設についても説明会を行っていきます。

課長

中村委員

今回、設計に7.5カ月かかるということで臨時会を開催したわけだが、過去の耐震の設計、あるいは建替えの設計にかかった月数を伺いたい。

岸こども政策

課長

建設部に確認したところ、過去もこのぐらいかかっているという経緯があるということで、今回もそのようなスケジュールで考えたいということでございます。

中村委員

具体的にこの保育園については最長でこのぐらいかかりました、この保育園については最短でこのぐらいでしたということがわかると、7.5カ月の根拠がはっきりすると思うが、それについて答えていただきたい。

岸こども政策

課長

ちょっと確認させていただきたいと思います。

中村委員

それでは後ほど聞くとして、今回繰越明許を避けるために臨時会を開いて議案を提出された部分大きいと思うが、これからこども未来部としては少なくとも繰越明許を発生させないように臨時会を開催していくという方針で事業を作っていくという理解でよろしいか。

本田こども未
来部長

今回につきましては、平成29年度中に耐震工事を行い新年度、30年度には間に合わせるといふようなことを行わせていただきましたので、今後につきましてもそういった形で考えていくのかなといふことで想定しています。

中村委員

繰越明許をしていい場合もあるわけだから、9月定例会で議決をしたところで実態として確かに設計は遅れるかもしれないが、繰越明許をすれば予算は生きていくわけで、そのまま事業は着工できるではないか。それをあえて今回臨時会を開いたことから、何かしらの理由があると思う。その理由について、もう少し具体的に言っていただきたい。それから、こういった事案に関してはこれからも繰越明許をせずになるべく臨時会を開いて審議をするといふことを、こども未来部としては考えているといふふうには受け止めるが、それについてはどうか。

本田こども未
来部長

確かに、今回につきましては繰越明許という理由に私どもとしては全体は考えておりませんでした。いずれにしても年度内に終わらせることが園の運営にも支障がないと考えましてお願いしたものでございます。今後につきましては、臨時会を開催していくかどうかといふのは、私どもだけでは判断できないところがありますが、今回のような形があるといふのは臨時会も今後もないわけではないと考えております。

中村委員

基本的には、単年度主義の財政の原則というのがあり、それを押さえるために今回臨時会を開いているわけで、だからやっぱりこども未来部としてこれは繰越明許などを発生させずに当年度のものは当年度で消化していくために、あらゆる努力をしていくという答弁だと思うが、それは臨時会の開催、それは開催されるかどうか別にしても、それはお願いをしていくようなスタンスでやられるということでもいいか。

本田こども未来部長

確かに、これが1つの前例になるものと考えております。そういう意味では、これに準じてということはあるかと思いますが、あとは私どもだけの判断ではございませんので、そこは庁内での調整になるかと思っております。

休 憩（午後5時15分）

（休憩中に協議会を実施した。）

再 開（午後5時26分）

末吉委員

先ほどの議案質疑の中で指名競争入札という話があったが、耐震工事を行う業者というのはかなり技術が必要になると聞いた。そういった技術を持った業者をきちんと確保できるのか。

岸こども政策課長

登録している業者の中から、過去に実績がある事業者を指名して入札を行う予定です。

末吉委員

仮にこの議案が継続となった場合、この計画は今後どうなるのか。

岸こども政策
課長

議案資料でお示ししている工程表は、最短で行う内容となっております。仮に、子どもが居ながらにして工事を行うということになると、工期自体も5カ月ということを出しておりますが、延びる恐れがあります。それから、設計が次年度に延びるということは、工事自体も平成29年度では終わらないというような影響が出るのではないかと考えております。

休 憩（午後5時29分）

（休憩中に協議会を開き、意見の調整を図った。）

再 開（午後7時55分）

亀山委員長

先ほどお願いした資料をお手元に配付してあります。この資料を他の議員にも配付することよろしいか。

（委員了承）

傍聴者にも配付することよろしいか。また、終了後回収することよろしいか。

（委員了承）

本田こども未
来部長

ただいまお配りしました資料に関しまして、概要説明をさせていただきます。

岸こども政策
課長

代替施設検討案といたしまして、各保育園の代替施設の候補として挙げさせていただいている施設を所管する関係課を記載してまとめたもので

ございます。

例えば、三ヶ島保育園でしたら、わかば児童館、三ヶ島小学校、林小学校、三ヶ島公民館が候補として考えられているところです。

代替施設における保育につきまして、学校の場合は、転用可能な教室を活用して、そこを保育園にするというふうにしていくことになるわけですが、小学生と保育園児ではトイレも厳しいということなので、おまるとかを設置するというようなことはいろいろ考えなければいけない部分というふうに思っています。園児が代替場所に回避する時期が本当に暑い時期や寒い時期になってしまう場合には、教室にはエアコンがないという問題もございますので、時期をずらすとか、特別教室を使わせてもらえるようなことがあればそういったところに対応していきたいというふうには考えているところです。児童館ですと、小学校よりは保育園児に対して施設のハード的には受け入れやすいような施設にはなります。乳幼児のサークル等で昼間の事業で使う場合もあり、乳幼児用の対応も少しできている部分もありますので、小学校よりは保育園児を受け入れやすいような施設であるというふうに考えております。ただ、どうしても利用者がいますので、昼間は事業をやっている部分、それから放課後になりますと生活クラブがございますので、そういった部分を保育園にするということは、キャパシティ的に、一時、現在の利用者にどいてもらうようなことをしなくてはならないということになりますので、昼間の事業について、全部は難しいのかもしれませんが、近くのまちづくりセンターなどを借りて続け

られるようであれば続けていただくようにするでしょうし、生活クラブについては、学校にご協力いただいて、自分が通う学校であれば、そのまま残って生活クラブとして居るということですと生活クラブの方にも理解を得られやすいのではないかとこのふうには考えているところです。わかば児童館については、生活クラブを利用されている全児童が林小学校在学ということですので、昼間、林小学校に行き、放課後にそのまま引き続き居られるということができれば、理解を得られやすいと考えているところです。それから、学校についても同様に考えておき、学校の状況によって、ほかの教室、特別教室等の保育園としての活用を調整していくということです。可能であれば、小学校も視野に入れていくという部分はあります。児童館については、わかば児童館の説明の時と同様に、どうしても子どもが保育園に入りますと、児童館利用者の方が別にまた探さなくてはならないということになりますので、それぞれの学校に残る形を取れるのであれば、そういう対応をしていきたいと考えています。安松保育園の近くのまつば児童館を斜線で消させていただいていますが、報告が遅れましたけれども、斜線が引かれているものについては、物理的、キャパシティ的に狭くて、1園丸ごとその場所に入れないものです。分散して保育する場所については考えておりませんので、1園丸ごと入れるキャパシティで、個々を挙げているところです。それから、高齢者施設については、保育園が丸々入ることになると、現在の利用者の方に利用を止めてもらうことが想定され、使える部分と使えない部分ということ

で、今のところ調べておりまして、その部分でも、高齢者施設については、完全にゼロというわけではないですが、なかなか厳しいと見ているところ
です。それから、安松保育園と北秋津保育園に保健センターが出ています
が、保健センターについては、昔、高齢者のデイサービスがあった部分
があり、今、アウトリーチ事業が入っているのですが、保健センターは診療
所という区分でありますけれども、活用しやすい場所ということで候補に
挙げさせていただいています。

町田保育幼稚
園課長

考え方ということで御説明させていただきます。いろいろな方法がある
のかもしれませんが、他の公立保育園の提供を含めまして現在調整をして
いるところであります。

吉村委員

中新井保育園については、園児はその園に残って工事ができると聞いた
が、どうか。

岸こども政策
課長

これもあくまでも今回お願いしている設計が確定するまではわからな
いので、当然だめだったときのことを考えて候補も考えておかなければい
けないということで挙げさせてもらっているものもございしますが、中新井
保育園については可能性としては居ながらの工事も可能性としてはまだ
残っているということでもあります。

末吉委員 この代替施設の中で、例えば民間の幼稚園などは検討の対象に入れなかったのか。

岸こども政策
課長 先ほど給食の話が出ましたが、民間幼稚園につきましてもどうしても保育園のような調理設備がありませんので、子どもが入れる保育室がわりになるところということでは、公共施設も幼稚園もそれほど大差がないということであれば、市が持っている施設の中で考えたほうがいいのではないかとこの部分で、民間幼稚園に頼むと行ったことは行いませんでした。

末吉委員 所沢第二幼稚園にこだわってしまうが、定員割れしていて、なおかつ園庭がありということで本当にもったいないが、ここは徒歩何分か。徒歩20分にこだわった根拠を伺いたい。

岸こども政策
課長 代替施設が近くなればいいですが、さらに遠くなると送迎が厳しくなります。子どもを連れての送迎は20分が限界と考え、園から徒歩20分圏内とさせていただきました。

平井委員 給食について、他の公立保育園にということであったが、104人いる山口西保育園の場合はどういうふうに行っているのか。

町田保育幼稚 公立保育園で分散した形でもいけるのではないかとこのことで、いろいろ

園課長	な方面から検討しているところです。
末吉委員	調整がうまくいかなかった場合、説明会でどのように話すのか。
岸こども政策課長	所管する各部門と調整を行っており、市全体で行う事業ということで協力していただけるというお話はいただいております。あとは、保育をする環境としてよりいいものを選んで決定していきたいと考えておりまして、どこも決まらないということは想定しておりません。
末吉委員	この候補地の中のどこになるかによって、かなり保護者の受け止め方や対応策が変わってくると思う。説明会をするときに、こういう方向になりますと、そのことに沿って説明をしていきますとすれば、スムーズに進むのかなと思うのに、なぜ8月の説明会にこだわるのか。
町田保育幼稚園課長	継続の申請、来年度どうしますかという意向調査を9月から配布する予定ですので、8月中には保護者に何らかの形でお話ししたいと考えております。
末吉委員	給食も含めて、8月下旬までに確定できるのか。大筋の方向性を、この5園ともきちんと保護者に説明できるのか。それから、説明会は延ばせないのか。

岸こども政策
課長

こういう場合はこうですという説明では難しいと思いますので、そのときには当然第一候補はどれか絞り込んで間に合わせたいと考えております。説明会は延ばすということにつきましては、先ほどの町田課長の説明のとおり意向調査前のタイミングで行いまして、その後必要に応じて開催していきます。

越阪部委員

今までの議論の中で、はっきりしない面が心配事の1つになっているのかなと思う。そこで、いただいた表の中で今考えられる第一候補、順位というものがわかれば伺いたい。それから、執行部側だけがわかっていて進めるということを我々は心配している。こちらにもはっきり伝わっていないのに、何で8月中に説明会ができるのか。こちら側に対する説明が不十分なのかなという気がするが、その点はいかがか。

本田こども未
来部長

順位ということですが、ここに残っている施設につきましては可能性は十分にあると考えております。いずれにいたしましても、児童がその先の施設に行くということは、今の利用者がいるということも考えますと、そこでの内諾というところまでは至っておりませんので、申し訳ございませんが1位がどこかと言われましても、まだそこを課題も含めてこれから詰めていきたいと考えておりますので、これ以上は申し上げられません。

越阪部委員

ある意味では、説明会の際にこれが資料として出るといふことか。

岸こども支援

もちろん候補を挙げられるような状況になれば代替候補をお話させて

課長

いただきますが、いずれにしても一度、来年度は代替施設に2カ月ぐらい移っていただく時期があるということ、入園や転園の関係でお知らせしておかなければならないので、説明会をしなければならぬと考えております。

中村委員

個別ケースとしては具体的にいろいろあるだろうが、原則、生活クラブのほうに保育園の子どもたちが一時的に行ってもらい、生活クラブを利用している人ができればいつも利用している小中学校に留まれるようなモデルが、安全・安心の面から子どもたちの不安をぎりぎりまで解消するためには、それが理想かと思っていることは伝わった。それについて確認したい。

岸こども政策

児童館が代替施設になった場合は、そのお話のとおりで考えているところ

課長

でございます。

中村委員

そういうスタンスでいることが一番ベターだという認識でいるのか。

岸こども政策

そのとおりでございます。

課長

中村委員

仮に、なかなかうまくいかなかったときに、どのような対応をするかということが心配である。今まで保育園についてはいろいろあった。私たちも議員として反省もあるから今日は長引いているのだと思う。そういう意味では、保護者の意見をきちんと聞いて、かつ、計画にこだわらないで柔軟に対応してほしいという気持ちがある。保育サービスの水準は維持していただきたいし、保護者にもいろいろな方がいらっしゃる子どもたちにもいろいろなケースがあるので全員がイエスとは言ってくれない。そういう人たちの意見をくみ上げながら、柔軟な対応をしてほしい。例えば5園一度に行うのが難しければ、ちょっとずらしてもよいと思っている。その辺の柔軟な対応をしてくれるかどうか、それから丁寧な説明をするかどうか。そのことについて、もう一度ちゃんと教えて欲しい。

本田こども未

来部長

まず、説明会については、こども未来部もいろいろお騒がせしてまいりましたので、回数が多い少ないということではなく、理解していただけるような説明に努めていきたいと思っております。それから、保護者のご意見ということでございますが、どうしても保護者の方々の全員近くが反対だというような園があれば、それを押してでも市は実施するというつもりはございませんので、そういう意味では保護者の意見というものを尊重してまいりたいと思っております。

中村委員

代替施設の利用者に対する姿勢というものもある。それはこども未来部だけではなく全庁的に対応していただきたいと強く思っているが、この辺についても保育サービスの観点から当然代替施設の利用者に対する説明とその保育サービスの質が落ちないという部分をもう一度御答弁いただきたい。

岸こども政策
課長

その視点ももって、保育の質が落ちないような対応をとっていききたいと考えております。それから、代替施設の利用者に対しても十分説明したいと考えております。

中村委員

何度もこういうことがあったので、心してとりかかっていたきたい。それからもう1つ、7.5カ月の根拠を聞いて、実際の契約の期間が一番短く設計が終わったところと、一番長くかかったところについて一例を挙げてください。

岸こども政策
課長

工事設計業務委託の期間でございますが、所沢保育園につきましては9カ月、松郷保育園は9.8カ月、富岡保育園の新園舎は10.6カ月となっております。

矢作委員

資料の説明を伺ってますます分からないのが、1つは給食の問題であ

り、分散して作るとの答弁だが、例えば山口西保育園104食を仮に2つに分散して調理員が二手に分かれたとして、現場の中では給食は分刻みであり、給食の始まる時間に合わせて大変な思いをして作る。それをどのように運搬するのか。2つ目は、児童館の生活クラブの利用者を学校で保育する、これは指定管理者を学校へ派遣して保育するということか。

町田保育幼稚園課長

給食の食数や運搬については、現在、園長を含めて調理員と調整をしております。おっしゃるとおり、分刻みのスケジュールということがありますが、園長を含め、その部分に関しては行けるであろうところまでの調整を進めているところでございます。

岸こども政策課長

生活クラブの指定管理者について、このことを含めて調整しなければならぬ部分であり、現在調整中でございます。生活クラブ自体が学校に移るということになりますと、指定管理者はそちらで生活クラブを運営するということになりますが、その辺りの問題点も含めて確認、調整中でございます。

平井委員

指定管理者との関係では、相手は民間事業者だが、そこの話し合いという意味では年間契約のなかでやるわけだから、とても複雑になると思う。どこまでの話し合いをしているのかということと、先ほどの給食の話では、現在調整中とのことだが、今でさえ少ない人数の中で子どもたちの

給食を作っていて、今度は分散してどのようにやっていくのか具体的に全然想像がつかない。だからどこまで詰めているのか分からない。それもはっきりしていないということでは、いろいろ約束されていても不安材料がたくさん残る。市民への説明をととても気にしているが、その前に議員の私たちに、これなら大丈夫、というものを示していただかないと私たちもそれなら分かったとは言えないという感情が残ってしまう。みんなこれからとりかかるということで、8月下旬までにどこまで詰められるか分からないが、そこまでのスケジュールの調整、給食、指定管理者の3点についてお示しいただきたい。

岸こども政策
課長

指定管理者については、議員御心配のような細かい点については今後の部分ということもございますが、もしもこういうことになったらご協力いただけるかどうかということについては、緊急事態であるので指定管理者としてもできるだけの協力はしたいというお話をいただいています。ただ、細かい調整はこれからということでございます。

町田保育幼稚
園課長

給食につきましては、共通の献立で調理しておりますので、基本的には公立保育園であれば、同じです。アレルギー食などを含まますと、公立保育園での提供というのが、保護者にとっては一番安心できるということで、園長を含めて調整をしているところでございます。

平井委員

人数はふやさないで、そのままやっていくということか。

町田保育幼稚園
課長

そのとおりです。

平井委員

どうやってこの1カ月の中で詰めていくか、そのスケジュールが見えてこないが、それについては今後どうするのか。

岸こども政策
課長

今も引き続き調整を行っている状況です。

矢作委員

本来の業務を行えなくて、代替にして利用者、保護者、一般の来館者にも説明してという高いハードルを越えなければいけないのであれば、児童館は外すべきではないかと思うが、まだ児童館を残していくのか。

岸こども政策
課長

先ほどもお話ししましたが、児童館が候補として残っている理由ですが、保育士の話によりますと小学校と児童館では断然児童館で保育する方が保育の環境としてはいいということであります。児童館は利用者に変な影響があるというところがありますので、総合的にその辺の状況を勘案しまして、よりよいものを選んでいきたいと考えております。

【議案第73号 当委員会所管部分質疑終結】

休 憩（午後8時45分）

（休憩中に協議会を行った。）

再 開（午後11時11分）

【意 見】

平井委員

日本共産党所沢市議団を代表して議案第73号について意見を申し上げます。子どもの命を守るといいながら、仮園舎は財源節約のため造らず、代替施設の内容や、幼児の給食は各公立保育園に分散するなど安全性が確保されているとは思えません。さらにすでに利用者がある公立施設の代替えについては、児童館利用者への説明、指定管理者へのお願い、また保護者へも丁寧な説明も必要であり、高いハードルを越えなくてはなりません。本来ならば、議会に提案する前に、仮園舎も含めた検討を示し、議会を十分納得できるものが必要ではないでしょうか。理事者の皆さんには今日の審査の在り方を今後の教訓とされることを求めて継続の意見とします。

末吉委員

民進ネットリベラルの会を代表して議案第73号「平成28年度所沢市一般会計補正予算（第2号）」について意見を申し上げます。

今回の市立保育園5園の耐震補強工事の設計については市政の懸案事項であり、委員会の審査を通して今年4月に発生した熊本地震がきっかけで提案されたことが分かりました。確かにこの事業の趣旨に関しては子ど

もの安全・安心を考えると十分に理解します。しかし工事期間中の園児が利用する近隣の代替施設について大筋が見えない中、逆に代替施設での子どもの安全・安心に対し不安が残ります。これまでも保育園を巡っているといろと混乱した経緯があります。保護者や利用者に安心感を与える意味でも、今後使用する代替施設をきちんと関係部署と協議の上、確定させてから保育園の保護者、また利用する近隣施設の利用者に説明会を開催するべきと考えますので1日も早く庁内の調整をしてください。

また今回の事業の対象の園舎は昭和45年から昭和52年までに建てられました。今回の耐震補強の工事で園舎の建物自体の寿命は延びないこともわかりました。そのため今後そう遠くない時期に園舎の老朽化による建替え問題も発生する可能性もあるのでそうした視点を十分に考慮した計画の策定を求め、議案第73号「平成28年度所沢市一般会計補正予算(第2号)」について賛成の意見とします。

【意見終結】

【継続審査】

議案第73号については、挙手少数により、継続審査とすることは否決される。

【採 決】

議案第73号当委員会所管部分については、挙手総数により、原案のとおり可決すべきものと決する。

○議案第73号「平成28年度所沢市一般会計補正予算（第2号）」に対する付帯決議について

亀山委員長

中村委員より付帯決議案が出されたので、趣旨説明を願います。

中村委員

発議者を代表いたしまして、議案第73号「平成28年度所沢市一般会計補正予算（第2号）」に対する付帯決議の提案理由を申し上げます。

付帯決議の文言を読み上げることで、付帯決議の提案理由の説明に代えさせていただきます。議案第73号「平成28年所沢市一般会計補正予算（第2号）」に対する付帯決議。記。耐震工事の実施にあたっては、関係者に対する説明を丁寧に行うとともに、保育サービスに過大な支障が出ないように柔軟な対応をすること。以上のとおり提出します。委員各位におかれましては、慎重ご審議の上、何卒お認めいただきますようよろしくお願い申し上げます。

【質 疑】 な し

【意 見】

矢作議員

本日の審議の中で、老朽化の園舎の建替えについては、「全体の需給バランスを見ながら議論する」との答弁もありました。また、建替えに際しては仮園舎の設置も含め検討するということも含まれていると理解し、賛成の意見といたします。

【採 決】

議案第73号当委員会所管部分については、全会一致、付帯決議を付す

ことに決する。

散 会 (午後 1 1 時 1 8 分)